

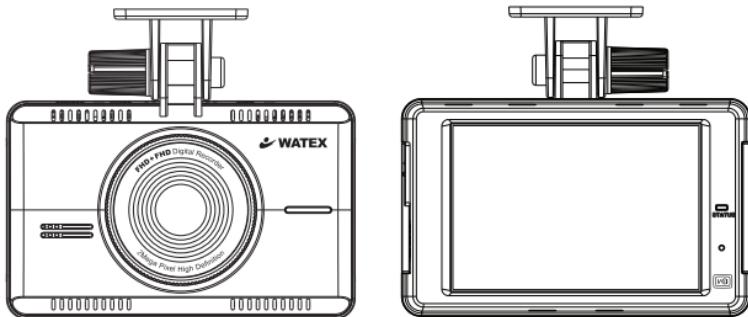


3.5インチ液晶搭載 ADAS リアカメラ付属ドライブレコーダー

取扱説明書

Ver.3

XLDR-F-ADAS



このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、弊社や販売店は一切の責任を負いません。

目 次

お使いになる前に	3
安全上のご注意	4
ADAS 機能についての注意事項	6
microSD カードご使用に関しての注意事項	7
各部の名称とはたらき	8
内容物の確認	9
取り付け上の注意事項	10
ドライブレコーダーを取り付ける	11
使用上の注意事項	13
録画の種類	14
microSD カード内ファイル構成	15
ドライブレコーダーを使う	16
メニュー モード	18
録画衝撃感度 [衝撃時センサーの感度設定]	19
駐車録画設定 [駐車録画時間・放電遮断電圧・駐車モード設定]	20
画面設定 [本体液晶画面の設定]	21
音声設定 [音声録音・スピーカー音量]	22
ADAS 設定	23
後方接近警告 / 制限速度設定	25
システム [タッチ補正]	26
システム [フォーマット & 初期化・日時・システム設定]	27
再生 モード	28
手動録画	29
録画時間の目安	30
製品仕様	31

【付属】XLDR-F-ADAS ビューアー説明書

お使いになる前に

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は常時録画及び車体に受けた衝撃を感じて、その衝撃の前後の映像を記録する装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、本書を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。また、取扱説明書の内容は予告なく変更することがございます。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードしてご利用ください。

本製品について

- 本製品は常時録画及び衝撃を感じて映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源ケーブルが外れて電源供給が止まったりした場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。弊社では映像が記録されなかつた時の責任は一切負いません。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本製品で撮影すると点滅したり、消灯したりしているように撮影されることがあります。信号機が映らないことに際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品で記録した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。撮影した映像に関するトラブル等に際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スマートライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。
- ADAS機能〔前方車発進警報〕・〔前方車衝突警報〕・〔車線逸脱警報〕および〔後方接近警告〕、〔制限速度警告〕は、画像により簡易的に行う付随的な機能になりますので、安全運転を完全にアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
- 駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

【駐車録画（駐車モード）に関するご注意】

駐車録画（駐車モード）は車両の常時電源を使用する為、車両バッテリーへの負荷が掛かります。以下に示す3項目に該当するお客様は車両バッテリー上がりの原因となりますので、駐車録画（駐車モード）の使用をお控え頂きますよう、お願い申し上げます。

- 毎日運転しない方
- 1日の走行が1時間以下の方
- 車両バッテリーを1年以上使用している方

上記は参考基準であり、お客様のお車及びバッテリー容量等によってはこの限りではありません。お車によってエンジンスタートに必要な電圧が異なりますので、メーカー等にご確認頂きご理解の上、駐車録画（駐車モード）の機能をご使用ください。

安全上のご注意

製品及び取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、
使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。
また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作する
と道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大
変危険です。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や
改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり異常に発熱しているときは、ただちに使用を中
止し、電源ケーブルを抜いてください。



電源ケーブルを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



電源ケーブルを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。
ケーブルが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本製
品は防水仕様ではありません。水がかかりますと故障や火災・感電の
原因となります。



運転や視界の妨げになる位置に取り付けないでください。交通事故の
原因となります。



エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
本製品が外れて事故やケガの原因となります。また、エアバッグが正常
に動作しないことがあります。

！ 注意

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がケガをしたり、物的損害が発生したりする可能性があります。

-  本製品に強い衝撃を与えたる、高い所から落としたるしないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。
-  本製品をお手入れする場合は、電源ケーブルを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。
-  振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。
-  エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。
-  本製品を取り付けする時は、必ず付属の取り付け部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると本製品が損傷したり、しっかりと固定できず外れたりすることがあります。
-  電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。
-  別売品のシガージャックケーブルが、シガーライターソケットの形状に合わない場合、ご使用にならないでください。火災・故障の原因となります。
-  本製品は12Vまたは24Vマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。
-  本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。
-  電源がオン状態または、録画中にmicroSDカードを取り出すと記録データとmicroSDカードが破損する可能性があるので注意をしてください。
-  本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。
-  万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについて、弊社は一切責任を負いません。
-  本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。
-  記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

ADAS 機能についての注意事項

ADAS(安全運転支援) 機能について

- はじめてご使用する前に、[ADAS 設定] - [キャリブレーション] メニューを設定してください。
- ダッシュボードの上に置かれたものが前面窓ガラスに反射される場合、正常に動作しない場合があります。
- ADAS 機能の使用中製品の角度がずれてしまった場合、[ADAS 設定] - [キャリブレーション] メニューを再設定してください。
- 前方車衝突警報は、画像処理により前車を検知します。紛らわしいシルエットを誤認識して警報を発する場合があるほか、前車の形状や環境要因が原因で正しく検知できない場合があります。必ず実際の走行中の状況に合わせて運転をしてください。
- 前方車発進警報は、画像認識により、前車のブレーキランプの点灯・消灯を検出して警報を発します。前車のブレーキランプが故障等で点灯しない場合は機能しません。また、仕様上、前車が発進せずにブレーキランプを消灯させた場合にも警報を発します。カメラのレンズが水平ラインに合っていない場合は、安全運転支援機能が正しく機能しません。
- 車線逸脱警報は、車線表示と道路の端を検出できない場合があります。
(車線が複数重なっていたり、複雑な区間の場合検出できないことがあります)
ワインカーと連動していないため、仕様上、車線変更時にも車線逸脱警報の警報が鳴ります。また、車線変更時中は前車を検知しないため、衝突のリスクがある場合でも前方衝突警報は警報を発しません。

※本製品の安全運転支援機能は、あくまでドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。またすべての危険を警報するものではありません。

※運転者は走行中に本製品のモニターを注視するなど、前方不注意を行わないでください。

この機能の判断精度は以下の場合に影響を受けますので、あくまで補助的な機能としてご使用ください。

- 空が暗くて灯りが不足しているとき
- 大きなカーブがあるような山道を運転しているとき
- 複雑な車線で構成されているような道を運転しているとき
- 前方車によって、水が飛び散る、雪やホコリが舞い上がったとき
- 嵐を通過中、または霧やホコリの多い場所
- 太陽に向かって運転しているとき
- 日没時、薄明かりが空に残っている場合
- ビルやガードレールの影でマークした線が隠れた場合
- トンネルに入ったときなど、明るさの一時的な変化
- 外部環境の光が著しく変化した場合
- 反射板などからの強い光を受けたとき

microSD カードご使用に関しての注意事項

もしも事故が起きたら・・・

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずエンジンを(電源を)オフにして microSD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

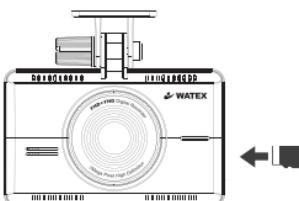
microSD カードご使用に関しての注意事項

- 推奨された付属の microSD カードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われないなどの不具合が発生する場合があります。その場合には動作の保証はいたしかねます。

- microSD カードの出し入れは、かならずエンジンを停止し LED ランプが消灯してから行ってください。microSD カードに記録された映像が消失する場合や、破損する場合があります。

- なお、データは上書きまたは消去されますので、重要な映像は他の媒体へバックアップすることをお勧めします。

- microSD カードは指定した方向へ正しく挿入してください。



- 安定してご使用いただくため、1~2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。(27 ページ参照)

- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カード(推奨品)への交換をお勧めします。長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。

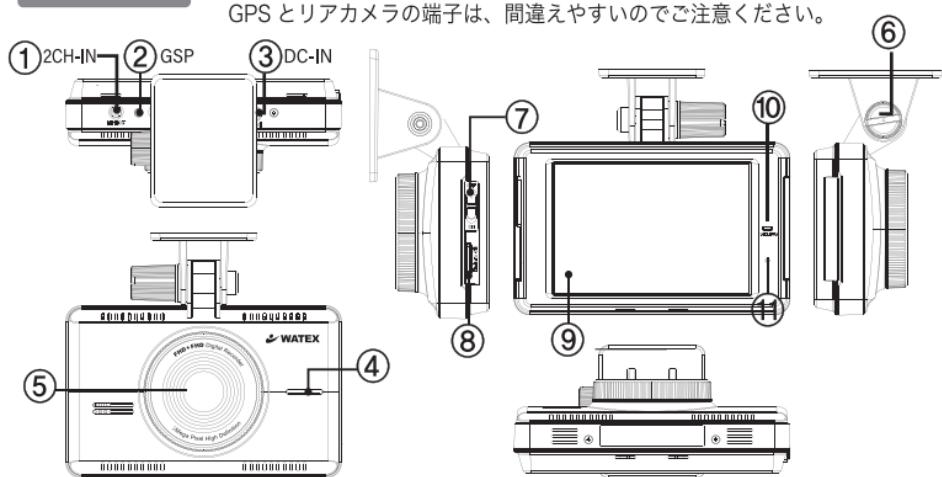
- micro SD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いかねます。

- フォーマットは必ず本機で行ってください。

各部の名称とはたらき

本体カメラ

※カメラの各端子には付属の専用のケーブル以外接続しないでください。
GPS とリアカメラの端子は、間違えやすいのでご注意ください。



① リアカメラ接続端子 (2CH-IN)

リアカメラを接続

② GPS 接続端子 (GPS)

GPS アンテナを接続

③ 電源接続端子 (DC-IN)

電源ケーブルを接続

④ LED

使用できません

⑤ カメラ

本体のカメラ部

⑥ ブラケット固定ねじ

本体の角度を調整

⑦ 電源スイッチ

製品の電源オン / オフ

⑧ microSD カードスロット

microSD カード挿入口

⑨ タッチパネル液晶

録画映像や設定を表示

⑩ 状態表示 LED

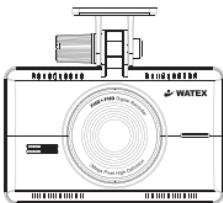
電源オン時（常時録画）・駐車録画待機時、緑点灯
衝撃、手動、モーション時、赤点滅
電源オフ（駐車録画オフ）時、消灯

⑪ リセットボタン

先の細い棒などで押すとシステムを再起動

内容物の確認

セット内容



●本体カメラ
(ブラケット付)



●電源ケーブル
(バッテリー配線タイプ)



●リアカメラ
(接続ケーブル付き)



●GPS



●ケーブルクリップ ×5 個



●microSD カード (32GB)
& カードアダプター



● 保証書



● 取扱説明書

※ 専用ビューアーソフトは microSD カード内に保存されています。

注意：付属の microSD カードをフォーマットすると専用ビューアーソフトが消去されてしまいます。

あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

専用ビューアーソフトは、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。

<http://www.watex-net.com/>

オプション

シガータイプ電源 (駐車監視不可)



microSD カード

32、64、128GB

取り付け上の注意事項

本機は製品特性上、カメラがしっかりと正しい位置に固定されていることが非常に重要です。取り付け作業にあたっては本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中に剥がれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
- 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高い時はテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなることがあります。できるだけ好天候の日に取り付けしてください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いので、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取り付け位置は慎重に決めてください。
- 貼り付けが完了したら、プラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
- 取り付けが完了してから24時間はできるだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
- 本機の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。

取付位置

- 取り付け位置は車両フロントガラス上部20%以内の位置で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本機に当たらない位置に取り付けてください。
- 付属のmicroSDカードが容易に抜き差しできる位置に取り付けてください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- フロントガラスの着色部分（セラミックラインなど）が映らないように、取り付けてください。また、雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置に取り付けてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ラジオやテレビアンテナの近くで使用すると、ラジオ雑音やテレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けた位置に取り付けてください。
- スマートキー電波受信機などの近くに設置すると電波干渉が起きてキーが効かなくなる場合があります。なるべく各受信機の近くに設置しないでください。
- 自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取り付け、配線してください。

●国土交通省の定める保安基準※に適合させるため必ず取付許容範囲内に取り付けてください。

※道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)、細目告示第39条、第117条および第195条最新の

保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。

ドライブレコーダーを取り付ける

[設置・電源ケーブル配線時のご注意]

車両にTVフィルムアンテナがある場合、本体または各ケーブルを離して設置してください。

TVアンテナからカメラ本体を12cm以上離す

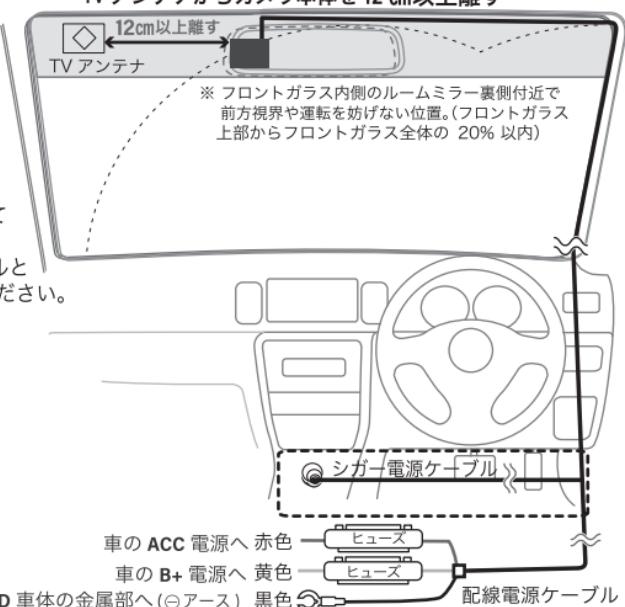
本体カメラ設置

TVフィルムアンテナから本体を12cm以上離して設置してください。

電源ケーブルはTVフィルムアンテナから10cm以上離して配線してください。

TVフィルムアンテナケーブルと逆方向に引き回し配線してください。

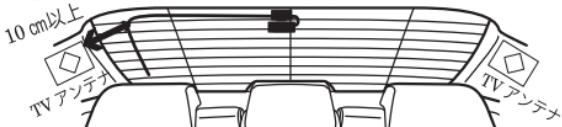
また、TVフィルムアンテナケーブルと一緒に束ねないでください。



リアカメラ設置

リアガラスの内側中央の最上部付近にレンズを車外(後方)に向けて設置してください。

TVアンテナが後方にある場合リアカメラ接続ケーブルを10cm以上離す



※脱脂クリーナーなどでリヤガラスを清掃し、よく乾かした後に貼付けてください。

両面テープがカメラ側に来るよう プラケットを回して
レンズが車外に向くようにガラス面に貼りつけます。



プラケットの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、
取付角度を調整し調整後にネジを締めてください。



リアカメラの上下の角度は本体
ドライブレコーダーの液晶画面で
後方車のナンバーが確認できる
ように調整してください。

リアカメラが映らない時は
リアカメラ接続ケーブルをしっかりと本体へ差し込んだ後、再起動してください。

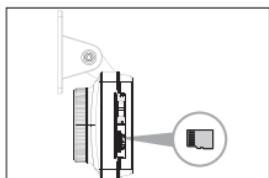
ドライブレコーダーを取り付ける（つづき）

【仮留め・テスト録画】

カメラ本体に電源ケーブル、GPSケーブル、リアカメラ接続ケーブルを配線し、それぞれ両面テープで貼り付け設置します。両面テープは粘着力が強いため、しっかりと貼り付ける前に、いったん養生テープなどで仮留めをしてテスト撮影し、液晶画面で確認してください。映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしてないか確認してください。問題無いようであれば本取り付けを行います。

【取り付け方法】ブラケットをフロントガラスに両面テープで取り付けます。

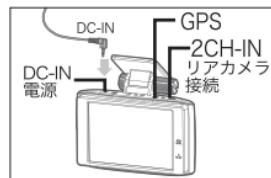
※フロントガラスを脱脂クリーナーなどできれいに清掃した後に取り付けてください。



microSDカードを「カチッ」という音がするまで挿入する



両面テープのハクリ紙をはがしてブラケットを貼りつける



電源ケーブル、GPS、リアカメラ接続ケーブルを配線

【GPSの取り付け】

[取り付け位置]・地デジやETC、他のGPS等のアンテナから10cm以上離した位置

- ・自動車の機能（エアバックや運転支援システムなど）の妨げにならない位置
- ・衛星からの電波を受信しやすい位置（フロントガラス付近）

①本体のGPS接続端子に、GPSケーブルを接続する

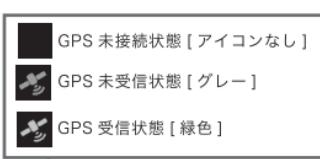
②GPSはダッシュボードに設置する

GPS裏面の両面テープで
ダッシュボードに貼り付け
しっかりと設置します。



自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取り付け、配線してください。事故や怪我の原因となります。ケーブルを運転の支障にならないよう配線してください。

③電源ON後、本体液晶画面でGPS受信状態の確認を行う



使用上の注意事項

【GPS】

- GPS の受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
- 位置情報は、GPS の受信で測位されます。GPS が受信できない場所では、完全な位置の測位をおこなうことができません。
- 録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPS の測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。

【液晶画面】

- 同じ映像を長時間表示した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶ディスプレイの性質により、輝点や減点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。
- ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。

【タッチパネル操作】

- 走行中は、操作を行わないでください。
- 走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押さないでください。タッチパネルが破損して、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの反応にズレが発生した場合、タッチパネルを補正してください。
- 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

【アイドリングストップ車での使用】

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

録画の種類

[注意事項]

駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。
また保証なども一切ありません。車両側のバッテリー・チェックは定期的に行ってください。

電源オンで常時録画+衝撃録画がスタートします。

常時録画

電源オンからオフまで常に録画を続けます。microSD カードの Normal フォルダに保存されます。容量がいっぱいになったら古いファイルから上書きされます。

※常時録画の 1 ファイルの容量は約 1 分



衝撃(手動)録画

衝撃時 (G センサーが衝撃を検知したとき) や手動で録画したときは、1 ファイル 約 20 秒 (前 5 秒、後 15 秒) のファイルが Event フォルダに保存されます。

電源オフで常時録画+衝撃録画を終了します。

駐車モードに移行するには、シガー電源ではなく配線ケーブルで常時電源から電源を供給する必要があります。そのためバッテリーの充電状況が万全でない状態で使用すると「遮断電圧設定」により駐車監視機能が動作しないことがあります。

駐車モード

電源ケーブル (配線タイプ) のみ機能

車両のエンジン停止後、(モーションセンサー) で動体を検知したときと (G センサー) で衝撃を検知したときに録画を開始します。【※駐車モード設定：標準のとき】

モーション / 衝撃録画とも 1 ファイル 約 20 秒 (前 5 秒、後 15 秒) の映像ファイル

※駐車モード設定を長時間設定にすると、1 ファイル 1 分ごとのファイルで連続して録画をし続けます。

【衝撃 (G センサー)】車が衝撃を検知すると録画を開始 (Event フォルダに保存)

【動体検知 (モーションセンサー)】車の周囲で動くものを検知して録画を開始 (Parking フォルダに保存)

衝撃(G センサー)



動体検知(モーション)



○駐車モードの録画可能時間について 最大3時間の駐車録画ができます。

○駐車モード設定

無 効：駐車録画オフ

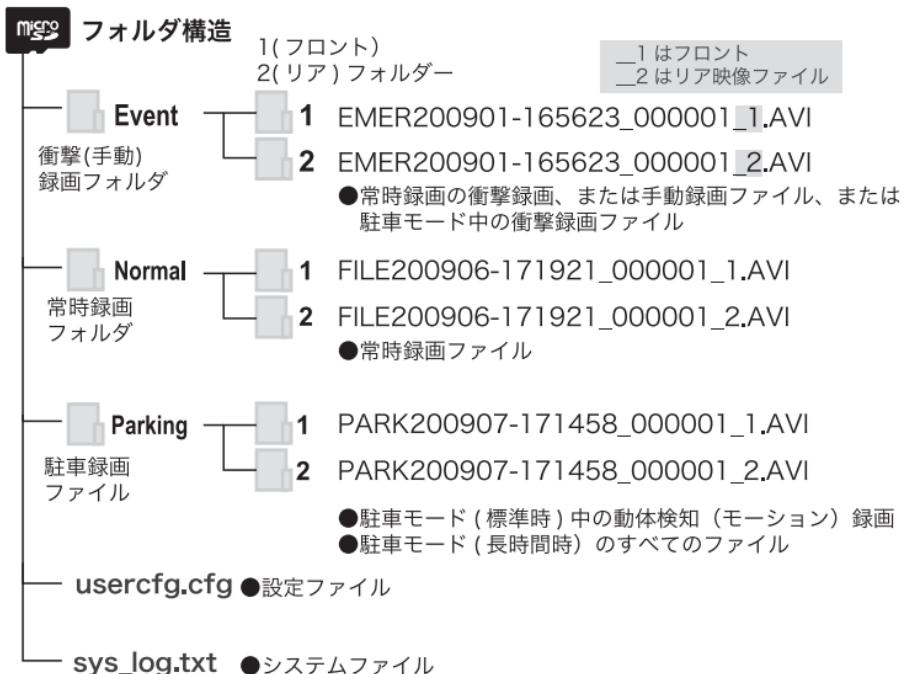
標 準：衝撃、またはモーション検知時、約 20 秒 (前 5 秒、後 15 秒) のファイルを保存します。

長時間：1 分ごとのファイルで連続して録画を続けます。

長時間に変更時、自動的に SD がフォーマットされます。大切なデータはあらかじめ保存してください。
録画領域の割り当てが常時 10%、駐車 70%、衝撃 15% に変更されます。

microSD カード内ファイル構成

microSD カードには、下記のようなファイル構成で映像ファイルおよび設定ファイルなどが保存されます。



(例 1) E M E R 2 0 0 5 1 7 _ 1 6 1 6 3 0 4 _ 0 0 0 0 0 1 _ 1 . A V I
2020 年 5 月 17 日 16 時 16 分 34 秒に EMER(衝撃 [手動] 録画した) フロント映像ファイル

(例 2) F I L E 2 0 0 5 1 8 _ 1 6 4 0 4 6 _ 0 0 0 0 0 1 _ 2 . A V I
2020 年 5 月 18 日 16 時 40 分 46 秒に FILE(常時録画した) リア映像ファイル

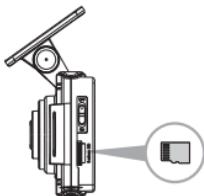
(例 3) P A R K 2 0 0 5 1 9 _ 1 6 1 6 3 3 _ 0 0 0 0 0 1 _ 2 . A V I
2020 年 5 月 19 日 16 時 16 分 33 秒に PARK (駐車モード中にモーション録画した) リア映像ファイル

microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画 (Normal フォルダ) 、衝撃録画 (Event フォルダ) 、駐車録画 (Parking フォルダ) それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。本体起動直後や録画データの記録直後に手動録画や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。手動録画または衝撃による録画データの保存中は、手動録画や衝撃を検出してても、新しく記録することはできません。事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。

ドライブレコーダーを使う

microSD カードを差し込んでエンジンをかけねば、本機の電源がオンになります。電源が入ると自動的に録画がスタートします。

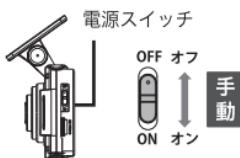
1) 電源を入れる前に microSD カードスロットに microSD カードを挿入する



● microSD カードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

- 弊社が推奨する microSD カードを使用してください。
- microSD カードをフォーマットする場合、必ずドライブレコーダー本体でフォーマットしてください。

2) 車のエンジンをかける（ドライブレコーダーの電源がオンになります）



エンジンをかけた状態で電源スイッチをオフにすると電源が切れます。再び、電源スイッチをオンにすると電源が入ります。電源スイッチをオフにすると録画されません。

3) 常時録画を開始（電源スイッチをオンにしておいてください）

①常時録画

車両のエンジンをかける（本体に電源が入る）と撮影を開始します。

常時録画のデータは Normal フォルダに保存されます。（フロント [1]、リア [2] フォルダー）

②衝撃検知による録画（衝撃録画）

本体内部の G センサーが衝撃を検知すると、前後の記録を衝撃録画として Event フォルダに保存します。（フロント [1]、リア [2] フォルダー）

③手動録画

録画中、液晶のメニューの手動録画をタッチすると、タッチした前後の記録を Event フォルダに保存します。（フロント [1]、リア [2] フォルダー）

④録画停止

車両のエンジンを切ると自動的に録画が停止します。電源オン時に電源スイッチをオフにしても録画を停止します。再び電源スイッチをオンにすると電源が入って録画を再開します。

⑤バックアップ機能

録画中、重大事故などの外部の衝撃によって電源が遮断されても、約 1 秒間録画を続けます。

4) 駐車録画 [標準モード]（配線電源接続時のみ）エンジンを切ったあとに駐車モードに入ります。

①衝撃検知による録画（衝撃録画） Event フォルダへ保存（フロント [1]、リア [2] フォルダー）

②動体検知による録画（モーション録画） Parking フォルダへ保存（フロント [1]、リア [2] フォルダー）

※電源スイッチ ON 時のみ録画します。

また、駐車モード設定を無効にしている場合も録画されません。

駐車録画の長時間モードは 1 分ごとの録画を続けます。（録画上限時間あり）

ドライブレコーダーを使う（つづき）

5) 液晶画面 ライブ映像画面：本体起動後、録画中の画面が表示されます。

【ライブ映像画面】



画面をタッチすると
メニュー mode が
表示されます。

時速 / 制限速度で設定した速度
制限速度以上で 5 秒以上走行
すると警告音が鳴ります。

Ⓐ 日時	2020/09/14 14:50:37	Ⓑ GPS	GPS 受信中	Ⓒ 録音	音声録音オン	Ⓓ 音声	音声案内オン	Ⓔ カメラ数	1CH 本体カメラのみ録画	Ⓕ 電圧	12.3V	Ⓖ 録画状態	REC
------	------------------------	-------	---------	------	--------	------	--------	--------	---------------	------	-------	--------	-----

表示の見方

Ⓐ 日時	現在の日時表示
Ⓑ GPS	[緑] GPS 受信中 [グレー] GPS 未受信 GPS 未接続
Ⓒ 録音	[緑] 音声録音オン [グレー] 音声録音オフ
Ⓓ 音声	[緑] 音声案内オン [グレー] 音声案内オフ
Ⓔ カメラ数	1CH 本体カメラのみ録画 2CH リアカメラ接続、2 カメラ録画
Ⓕ 電圧	現在の電源電圧を表示
Ⓖ 録画状態	REC 常時録画 EVT 衝撃録画・手動録画 SD カード未挿入(録画できません)

警告時の液晶表示



ADAS 機能警告時



メニュー モード [設定モード・再生モード・手動録画]

ライブ映像画面をタッチするとメニュー モードが表示されます。

設定モードでは各種設定が可能です。

メニュー モード			【メニュー モード】
			設定モード：各種設定（設定内容は下表参照）
設定モード	再生モード	手動録画	再生モード：録画したデータを再生 手動録画：手動録画開始

メニュー モードの詳細

メニ ュ ー モ ド	設定 モード	録画設定	常時衝撃感度	鈍感 / 標準 / 敏感	標準
			駐車衝撃感度	鈍感 / 標準 / 敏感	標準
			駐車録画時間	3 時間	固定値
		画面 & 音声	放電遮断電圧	12.2(24.3)V	固定値
			駐車モード設定	使用しない / 標準 / 長時間	使用しない
			画面の明るさ	暗い / 標準 / 明るい	標準
			映像表示設定	本体(大)リア(小) / 本体カメラの全体画面 リア(大)本体(小) / リアカメラの全体画面	本体(大) リア(小)
			液晶表示設定	1分後画面オフ / 画面常時オン / 1分後時計画面	画面常時オン
		音声設定	音声録音	オン / オフ	オン
			スピーカー音量	オフ / 小さい / 標準 / 大きい	標準
再 生 モ ード	機能設定	ADAS	前方車発進警報	オン / オフ	オン
			前方車衝突警報	オン / オフ	オン
			車線逸脱警報	オン / オフ	オン
		後方接近警告	キャリブレーション	設定画面で調整	斜線
			後方接近警告	オン / オフ	オン
			キャリブレーション	設定画面で調整	斜線
		制限速度	オフまたは、30km/h ~ 130km/h(10km/h 単位)	80km/h	
	システム	タッチ補正	補正画面		
		フォーマット&	フォーマット	OK / キャンセル	
		初期化	初期化	OK / キャンセル	
		日時	日付設定	設定画面	
			時間設定	設定画面	
		システム情報	システム情報表示		
	手動録画	常時録画	本体映像 / リア映像 [常時録画再生画面]		
		衝撃録画	本体映像 / リア映像 [衝撃録画再生画面 (手動録画・駐車中の衝撃録画も再生)]		
		駐車録画	本体映像 / リア映像 [駐車録画再生画面]		

※駐車録画はバッテリー保護機能があるため、規定値の電圧になると電源が遮断され録画を停止します。
バッテリーの性能や車両の使用状況により異なり駐車録画の録画時間を保証するものではありません。

録画衝撃感度 [衝撃時センサーの感度設定]

画面をタッチしてメニュー画面を表示する



録画衝撃感度で、常時衝撃感度、駐車衝撃感度をタッチして設定します。



常時衝撃感度をタッチ

常時録画時のGセンサー（衝撃検知）の感度を設定

■ 鈍感 / 標準 / 敏感

初期値：標準



駐車衝撃感度をタッチ

駐車録画時のGセンサー（衝撃検知）の感度を設定

■ 鈍感 / 標準 / 敏感

初期値：標準

駐車録画設定 [駐車録画時間・放電遮断電圧・駐車モード設定]

画面をタッチしてメニュー モードを表示する



① 設定モードをタッチ



② 録画設定をタッチ



③ 駐車録画設定をタッチ

駐車録画設定で、下記の項目をタッチして設定します。



①

②

③

① 駐車録画時間

② 放電遮断電圧

③ 駐車モード設定

① 駐車録画時間

(駐車録画タイマー)

固定値：3 時間

駐車録画時の動作時間は、最大 3 時間の固定値です。

■ 3 時間

※駐車録画はバッテリー保護機能があるため、規定の電圧になると電源が遮断され録画を停止します。バッテリーの性能や車両の使用状況により異なり駐車録画の録画時間を保証するものではありません。

② 放電遮断電圧

固定値：

12.2V(24.3)V

電圧が、12.2 (24.3) V 以下になると駐車録画を終了します。

() は 24V 車用の設定値です。

【注意事項】

駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

③ 駐車モード設定

初期値：使用しない

駐車モードの設定を変更すると録画時間の割り当てが変更され、microSD カードがフォーマットされます。
※30ページ

録画時間の目安を参照

駐車録画設定：使用しない、標準、長時間 の選択が可能です。

■ 使用しない / 標準 / 長時間

使用しない：駐車録画を使用しません。電源オフで録画を終了します。

標 準：【動体を検知した時】【衝撃を検知した時】のみ録画します。

1 ファイル 20 秒 (前 5 秒 / 後 15 秒)

SD 割り当て：常時 70%、駐車 5%、衝撃 20%、その他 5%

長 時 間：常時録画のように 1 ファイル 1 分を連続して取り続けます。

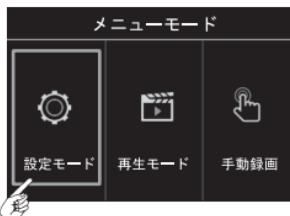
(すべて Parking フォルダへ 1 分ずつ保存されます)

(衝撃・モーション録画などはありません)

SD 割り当て：常時 10%、駐車 70%、衝撃 15%、その他 5%

画面設定 [本体液晶画面の設定]

画面をタッチしてメニュー画面を表示する



①設定モードをタッチ

②画面&音声をタッチ

③画面設定をタッチ

画面設定で、下記の項目をタッチして設定します。



① ② ③

① 画面の明るさ

② 映像表示設定

③ 液晶表示設定

①画面の明るさ 初期値：標準	明るい / 標準 / 暗い
②映像表示設定 初期値： 本体（大） リア（小）	本体（大） リア（小） / 本体カメラ の全体画面 / リア（大） 本体（小） / リアカメラ の全体画面 リアカメラ接続時、本体とリアカメラの画面表示が選択できます。
③液晶表示設定 初期値： 画面常時オン	1分後画面オフ / 画面常時オン / 1分後時計画面

音声設定 [音声録音・スピーカー音量]

画面をタッチしてメニュー モードを表示する



- ① 設定モードをタッチ ➡ ② 画面&音声をタッチ ➡ ③ 音声設定をタッチ
音声設定で、下記の項目をタッチして設定します。



- ① **音声録音** 初期値：音声録音オン
■ 音声録音オン / 音声録音オフ

② **スピーカー音量** 初期値：標準
■ オフ / 小さい / 標準 / 大きい
※オフに設定しても音声案内するものもあります。

音声案内一覧		
音量 オフ	GPS 受信時	GPS を受信しました。
可	リアカメラ切断時	リアカメラが切断されました。再起動します。
可	リアカメラ接続時	リアカメラが接続されました。再起動します。
可	電源投入後、録画開始時	録画を開始します。
可	電源オフ後、駐車録画開始時	駐車録画を開始します。
不可	microSD カード未挿入	microSD カードが挿入されていません。
不可	microSD カードエラー時	microSD カードエラーです。
可	衝撃録画、手動録画、 モーション録画時	ピコン
可	ADAS(前方車衝突警報)	コンコン コンコン
可	ADAS(車線逸脱警報)	ピーピー
可	ADAS(前方車発進警報)	キンコン
可	ADAS(制限速度警報)	ビビ ビビ ビビ
可	ADAS(後方車接近警報)	ティローン

ADAS 設定 [キャリブレーション設定]

画面をタッチしてメニュー画面を表示する

設定モードをタッチ▶機能設定をタッチ▶ADAS をタッチ

ADAS 設定で、下記の項目をタッチして設定します。①~③はオン / オフが設定できます。



- ① 前方車発進警報 (オン / オフ) 初期値: オン
- ② 前方車衝突警報 (オン / オフ) 初期値: オン
- ③ 車線逸脱警報 (オン / オフ) 初期値: オン
- ④ キャリブレーション 位置調整の設定画面

※ADAS 機能を使用する場合は必ずフロントカメラ映像のキャリブレーションを最初に行ってください。

最初に④のキャリブレーションをタッチし、調整する

- ・キャリブレーションは他の車両の通行の妨げにならない安全な場所で行なってください。
またなるべく平坦な場所で行なってください。
- ・運転者は走行中に操作を絶対に行わないでください。必ず停車した状態で操作を行なってください。

1. 一覧から車に近い車種を選ぶ



乗用車 / SUV / バスから取り付けた車に
近い車種を選択してタッチします。



2. 地平線を調整する

▲▼ で赤線を上下して地平線に
合わせます。



3. ボンネットを調整する

▲▼ で橙線を上下してボンネット
に合わせます。

※車種によってボンネットが映っていない
場合は、画面の下のほうへ線を下げ
てください。

4. 適用をタッチ



地平線とボンネットの調整が終了したら適用をタッチします。

ADAS 設定 (安全運転支援機能) の説明



① 前方車発進警報 (オン / オフ) 初期値：オン

② 前方車衝突警報 (オン / オフ) 初期値：オン

③ 車線逸脱警報 (オン / オフ) 初期値：オン

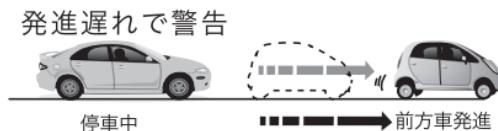
④ キャリブレーション 本体位置調整の設定画面

※ADAS 機能を使用する場合は必ずフロントカメラ映像のキャリブレーションを最初に行ってください。
(23 ページ参照)

①～③をオンにした時の警報の条件 (GPS 受信完了後に機能します)

① 前方車発進警報

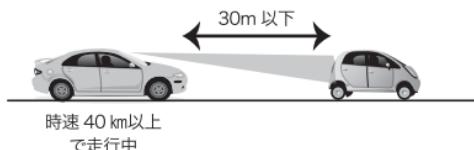
停車時に前方の車が発進した場合、しばらく走行を開始しないと警告音でお知らせします。



警告時に本体液晶に表示

② 前方車衝突警報

走行速度が 40 km/h 以上で、前方車との距離が 30 m 以下になったとき、警告音でお知らせします。



警告時に本体液晶に表示

③ 車線逸脱警報

走行速度が 40 km/h 以上で、車線を逸脱したときや車線を変更したとき、警告音でお知らせします。



警告時に本体液晶に表示

(注意) 安全運転支援機能は、事故を未然に防ぐものではありません。運転時は必ず実際の交通状況に注意して安全運転を行なってください。

- ・ 前方車との距離、位置や車線幅、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正常に動作しない場合があります。実際の走行中の状況に合わせて運転してください。
- ・ 前方車以外の周辺物や景色の変化でも接近お知らせを行う場合があります。
- ・ 前方車の形状、色、により正しく動作しない場合があります。
- ・ 車線以外の周辺物や景色の変化でも車線逸脱警報を行う場合があります。
- ・ 車線逸脱警報は車両ウインカーと連動しないため、車線変更時にも車線逸脱警報を行います。

後方接近警告 / 制限速度設定

[後方接近警告の設定]

メニュー / 設定モードをタッチ ▶ 機能設定をタッチ ▶ 後方接近警告をタッチ



① 後方接近警告 (オン / オフ) 初期値：オン
オン / オフが設定できます。

② キャリブレーション リア位置調整の設定画面

※後方接近警告を使用する場合は必ずリアカメラ映像のキャリブレーションを最初に行なってください。

最初に②のキャリブレーションをタッチし、調整する

基準範囲：地平線が赤い線の間に位置するようにリアカメラの取付角度を調整する

1. 地平線を調整する

▲▼で緑線を上下して地平線に合わせます。

赤
緑
赤

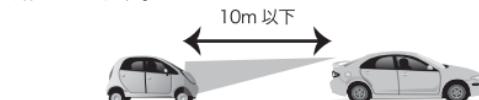


2. 適用をタッチする

適用
キャンセル

[後方接近警告の条件] オンにした時 (GPS 受信完了後に機能します)

走行速度が 40 km/h 以上で、後方車との距離が 10 m 以下になったとき、
警告音でお知らせします。



警告時に本体液晶に表示

(注意) 事故を未然に防ぐものではありません。運転時は必ず実際の交通状況に注意して安全運転を行なってください。

- ・ 距離や位置、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正常に動作しない場合があります。
- ・ 実際の走行中の状況に合わせて運転してください。

[制限速度の設定] 制限速度：オフまたは、30km/h ~ 130km/h

メニュー / 設定モードをタッチ ▶ 機能設定をタッチ ▶ 制限速度をタッチ



▲▼で上下して制限速度を設定します。(初期値 80km/h)

▼で 30km/h の次にがオフに表示されます。

警告音をオフにしたいときはオフに設定してください。

制限速度以上で走行した場合、警告音でお知らせします。

システム [タッチ補正]

画面をタッチしてメニュー画面を表示する



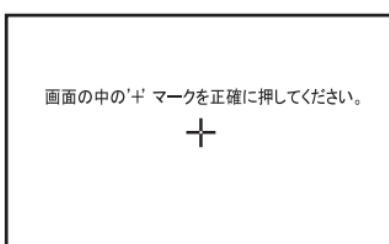
システム設定で、下記の項目をタッチして設定します。



① タッチ補正

タッチパネルのタッチ位置を補正します。

画面上の目的の位置をタッチした後、適切な選択ができないときに使用します。



- 「画面の中の'+'マークを正確に押してください。」と表示されたら、画面中央の「+」をタッチします。
- その後「+」マークが場所を変えて4カ所に表示されるので、順に「+」の交点を正確にタッチします。
- 「タッチ補正を完了しました。補正されたデータを適用します。」と表示されたら、タッチ補正完了です。

※失敗した場合は「タッチ補正に失敗しました。再度、画面中の'+'マークを正確に押してください。」と表示され、やり直しになります。

システム [フォーマット & 初期化・日時・システム設定]



② フォーマット & 初期化

フォーマットまたは、初期化をするときにタッチしてください。
microSD カードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。

【フォーマットする】

1. フォーマットをタッチしてください。
2. フォーマット画面が表示されたら OK をタッチしてフォーマットしてください。キャンセルをタッチするとフォーマットを中止します。



【初期化する】

- !** 初期化は、設定内容の初期化および microSD カードをフォーマットします。
1. 初期化をタッチしてください。
 2. 初期化画面が表示されたら OK をタッチして初期化してください。
キャンセルをタッチすると初期化を中止します。



注意 フォーマットおよび初期化を実行すると microSD カードの記録ファイルは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。



注意 初期化するとフォーマットの実行および設定内容が工場出荷時の初期値に戻ります。



③ 日時

日付設定と時計設定が可能です。
(GPS を接続すれば日時は自動取得されるので設定不要です。)

(GPS 未使用時)

日付設定または時計設定を選択して、変更したい表示をタッチして で設定してください。



設定後、【】戻るをタッチして録画画面に戻り（日時 / システム /、日時を確認してください。
(GPS を接続していない場合、日時・位置・速度情報だけでなく ADAS 機能も使用できません。)



④ システム情報

システム情報をタッチすると、モデル名、バージョン、時間、GPS 接続 G センサー、音声録音、電圧、温度など情報が表示されます。

再生モード

録画した映像を液晶画面に再生します。

画面をタッチしてメニュー モードを表示する

再生モードをタッチ



1. 再生モードが表示されるので常時録画、衝撃録画、駐車録画の再生したい項目をタッチします。

2. 本体映像またはリア映像を選択しタッチします。

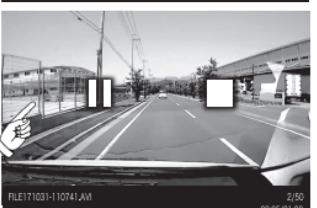
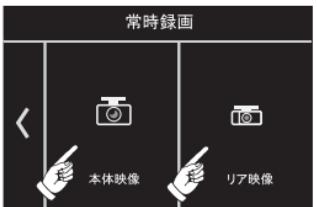
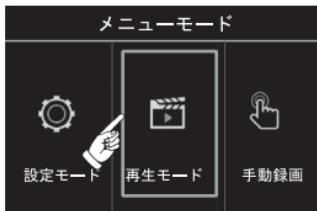
3. それぞれ日付、時間がファイル名になっているので再生したいファイル名をタッチして再生します。
「前へ」、「次へ」をタッチすると前後のファイルが表示されます。

2020..... yyyy(年)
1031 mm(月) dd(日)
093226.... hhmmss(時分秒)

4. 再生画面中、画面をタッチすると一時停止、停止などができます。

一時停止 / 再生

停止



手動録画

画面をタッチしてメニュー mode を表示する

手動録画をタッチ



手動録画ボタンをタッチすると衝撃録画のフォルダ（Event フォルダ）に保存されます。（タッチしたときの前 5 秒 / 後 15 秒）

ファイル名の例)

E M E R 2 0 0 5 1 7 _ 1 6 1 6 3 4 _ 0 0 0 0 0 1 _ 1 . A V I

2020 年 5 月 17 日 16 時 16 分 34 秒に EMER(手動録画した) フロント映像ファイル

E M E R 2 0 0 5 1 7 _ 1 6 1 6 3 4 _ 0 0 0 0 0 1 _ 2 . A V I

2020 年 5 月 17 日 16 時 16 分 34 秒に EMER(手動録画した) リア映像ファイル

録画時間の目安

駐車モードを変更すると自動的に割り当てが変更されます。

microSD カードの録画時間の目安です。 ※1 カメラ 2 カメラとも録画時間は同じです。

※メニュー モード / 設定 モード / 録画 設定 / 駐車録画 設定 / 駐車 モード 設定で駐車録画時間の設定ができます。駐車 モード 設定によって SD カードの録画時間の割当が決まります。

駐車 モード 設定 【使用しない】：常時録画 70%、駐車録画 5%、衝撃録画 20%、その他 5%

駐車 モード 設定 【標準】：常時録画 70%、駐車録画 5%、衝撃録画 20%、その他 5%

駐車 モード 設定 【長時間】：常時録画 10%、駐車録画 70%、衝撃録画 15%、その他 5%

SDカード容量	駐車モード設定	録画時間目安（分）			
		常時録画 [Normal]	駐車録画 [Parking]	衝撃録画 [Event]	合計
32GB	使用しない	97	7	23	127
	標準	97	7	23	127
	長時間	13	237	18	268
64GB	使用しない	194	13	45	252
	標準	194	13	45	252
	長時間	27	474	36	537
128GB	使用しない	388	26	90	504
	標準	388	26	90	504
	長時間	54	948	72	1074

※駐車録画はバッテリー保護機能があるため、バッテリーの状態により設定値以下の電圧になると電源が遮断され録画を停止します。バッテリーの性能や車両の使用状況により異なり駐車録画の録画時間を保証するものではありません。

製品仕様

XLDR-F-ADAS (JAN コード : 4560163494185)

仕様	メインカメラ	リアカメラ
重量(g)	約118g	約 25g
外形寸法(mm)	106(W)×65(H)×30(D)mm	53.3(W)× 36(H) × 26.5(D)mm
画角	水平約114°、垂直約67°、対角約 138°	水平約116°、垂直約90°、対角約 146°
解像度	FHD1920×1080 (SONY IMX307 STARVIS)	FHD1920×1080 (SONY IMX307 STARVIS)
フレームレート	29fps 固定	29fps 固定
映像記録方法	常時録画、イベント録画、駐車録画、(モーション録画+衝撃録画)	
映像ファイル	常時録画：1分、イベント/モーション録画：20秒（前5秒、後15秒）	
映像形式	AVI (H.264 / PCM)	
液晶画面	3.5インチ LCDタッチパネル	
液晶解像度	480×320	
液晶ディスプレイ	液晶明るさ：3段階設定	
記録媒体	microSD (32GB～128GB) class10以上	
Gセンサー感度	3段階（オフ無し）	GPS 有
時計機能	あり（GPS補正 or 手動補正）	音声案内 オン/オフ設定有
モーション録画	駐車録画(標準)時のみ機能	警報案内 オン/オフ設定有
駐車録画時間	最大3時間	映像再生 本体液晶、専用Viewer
放電遮断電圧	[駐車モード時]12.2V/24.3V(固定)	録音機能 オン/オフ設定有
駐車モード設定	OFF/標準/長時間	電源電圧 DC12V/24V
SDカード管理	フォーマットフリー	消費電力 max 4.5W
動作温度	-10°C ~ +60°C	保存温度 -20°C ~ +70°C
ADAS機能 (GPS必須)	前方衝突警報：オン/オフ設定可能 車線逸脱警報：オン/オフ設定可能 前方車両発進警報：オン/オフ設定可能 後方接近警告：オン/オフ設定可能 制限速度警報：設定速度で警報(オフまたは、30km/h ~130km/h)	
付属品	リアカメラ+リアカメラ接続ケーブル (7m) 、電源配線ケーブル (4m) 、取付ブラケット、GPSモジュール(2m)、ケーブルクリップ5個、microSDカード(32GB) 、SDカードアダプタ、取扱説明書、保証書	
オプション	シガータイプ電源ケーブル(駐車監視不可) 、microSDカード	

・本表の記載は、一般社団法人ドライブレコーダー協議会の表示ガイドラインに基づいています。



XLDR-F-ADAS 専用ビューアーソフト

XLDR-F-ADAS ビューアー説明書

インストールの前に

インストールの前に、お使いのパソコンが次の条件に合っているかどうかを確認してください。

- ・ハードディスクに、使用する microSD カードの容量を超える空きがあること
- ・OS が、Windows 8、8.1、10（32bit/64bit）であること

目 次

準備しましょう

ビューアーのインストール方法 3

使ってみましょう

基本操作 5

ビューアー画面の見方 6

その他の機能

ドライブレコーダー本体の各種設定変更 7

専用ビューアーソフトは、付属の microSD カードに保存しています。



XLDR-F-ADAS —— install_WATEX_XLDR-F-ADAS_Viewer_ver_***.exe

付属の microSD カード

付属の microSD カードをフォーマットすると上記のファイルが消去されてしまいます。
あらかじめパソコンなどにバックアップすることをお勧めします。

※ 付属の microSD カードを紛失、フォーマットしてしまった場合は、弊社ホームページより
ダウンロードしてください。

ビューアーのインストール方法

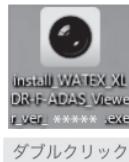
付属の microSD カードにビューアーが保存されています。

1 専用ビューアーが格納された付属の microSD カードをパソコンにセットする

- * 付属の microSD カードを紛失、フォーマットしてしまった場合は、
弊社ホームページよりダウンロードしてください。

2 microSD カードを開き、インストールプログラムをダブルクリックする

[XLDR-F-ADAS] フォルダの中の「install_WATEX_XLDR-F-ADAS_Viewer_ver_*****.exe」



ダブルクリック

3 セットアップ画面が表示されたら、 インストール先フォルダを確認して [次へ] ボタンをクリック



4 [インストール] ボタンをクリック



5 インストール画面が表示され インストール開始



6 インストール完了後、 [完了] ボタンをクリック



7 ショートカットがパソコンの デスクトップ上に作成される



基本操作

ビューアーの起動

- 1 インストールした専用のビューアーソフト「WATEX XLDR-F-ADAS Viewer」のアイコンをダブルクリックしてビューアーを起動する



ドライブレコーダー「XLDR-F-ADAS」専用ビューアーのアイコン



ドライブレコーダー XLDR-F-ADAS 専用ビューアーが起動します。

ファイルの読み込み

ドライブレコーダーで録画したファイルをビューアーに読み込みます。あらかじめ録画ファイルが入った microSD カードを用意しておきます。

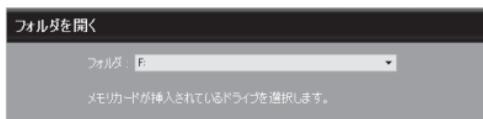
- 1 録画ファイルの入った microSD カードをパソコンにセットする

- 2 ビューアーを起動する

(フォルダ選択画面)

- 3 セットした microSD カードをフォルダ選択画面で選択し、OK ボタンをクリック

そのほかの場所に録画ファイルが保存してある場合は、他のフォルダボタンから保存場所を選択してください。



(ファイルリスト)

ファイルリスト			
常時	イベント	時間	駐車
タイプ	日付	時間	前後
イベント	2021-01-06	11:59:19	<input type="checkbox"/>
イベント	2021-01-06	15:20:00	<input type="checkbox"/>
イベント	2021-01-07	08:32:04	<input type="checkbox"/>
イベント	2021-01-07	08:45:38	<input type="checkbox"/>
イベント	2021-01-07	08:47:30	<input type="checkbox"/>
イベント	2021-01-07	08:48:20	<input type="checkbox"/>
イベント	2021-01-07	08:52:52	<input type="checkbox"/>
イベント	2021-01-07	08:53:12	<input type="checkbox"/>
イベント	2021-01-07	09:11:49	<input type="checkbox"/>
常時	~~~	~~~	<input type="checkbox"/>

- 4 ファイルリストから再生するファイルを選んでダブルクリックする。

録画ファイルの再生が開始されます。

ファイルリストは録画の種類ごとに表示することができます。常時 / イベント / 駐車をクリックして選択してください。再びクリックすると選択を解除できます。

ファイルリスト			
常時	イベント	時間	駐車
タイプ	日付	時間	前後
常時	2021-01-14	15:40:31	<input type="checkbox"/>
常時	2021-01-14	15:41:31	<input type="checkbox"/>
常時	2021-01-14	15:42:31	<input type="checkbox"/>
常時	2021-01-14	15:43:32	<input type="checkbox"/>
常時	2021-01-14	15:44:32	<input type="checkbox"/>
常時	2021-01-14	15:45:32	<input type="checkbox"/>

ビューアー画面の見方

ビューアー画面について



① 再生画面 1 ② 再生画面 2

再生画面 1 に本体カメラ、再生画面 2 にリアカメラの映像を表示します。画面を切り替えることもできます。再生画面をダブルクリックすると拡大表示できます。再度、ダブルクリックで元の画面に戻ります。

③ 設定ボタン

ドライブレコーダー本体の設定調整をおこなうための画面を表示します。付属の microSD カードが必要です。

④ バックアップボタン

ファイルリストで ✓ 選択した動画を指定した場所へ保存します。

⑤ スナップショットボタン

現在表示中の映像をキャプチャーして、静止画ファイル (JPEG) を指定した場所へ保存します。

⑥ 再生画面 1 用ボタン



⑦ 再生画面 2 用ボタン



⑧ 言語選択ボタン

⑨ 弊社ホームページへリンク

⑩ 専用ビューアーのバージョン情報表示

⑪ ビューアー画面の _ × 最小化ボタン / × 終了ボタン

⑫ シークバー

現在の再生位置を表示、変更します。

⑬ 再生操作ボタン

再生中のファイルの操作を行います。



⑭ GPS 受信状態 / 座標値

GPS の接続状態を表示します。
(接続時：緑表示)



⑮ 速度

GPS 接続時の速度が表示されます。

⑯ MAP

GPS 接続時、別ウインドウにマップを表示し、位置情報が表示されます。

⑰ G センサー値

走行時の揺れや衝撃などを 3 軸センサーのグラフで表示します。

⑱ 音量調整バー

再生音量を調整します。

⑲ 画面調整バー

再生画面の調整

- ・再生速度 遅い ⇄ 早い
- ・明るさ 暗い ⇄ 明るい
- ・コントラスト 低 ⇄ 高

⑳ フォルダを開く

再生ファイル一覧が表示されます。
再生するフォルダの選択画面を開きます。

㉑ ファイルリスト

ドライブレコーダー本体の各種設定変更



設定ボタン

ドライブレコーダーで使用する microSD カードをパソコンにセットして、ビューアーの設定ボタンをクリックする

下記の設定を行えます。

設定を保存した microSD カードを本体に挿入して電源をオンにすると保存した設定が適用されます。



各項目を選択したあと OK ボタンを押してください。初期化ボタンを押すと工場出荷時の初期値に戻ります。

初期値

①録画衝撃感度設定	常時録画衝撃感度	鈍感 / 標準 / 敏感	標準
	駐車録画衝撃感度	鈍感 / 標準 / 敏感	標準
②ADAS 設定	前方車発進警報	オフ / オン	オン
	前方車衝突警報	オフ / オン	オン
	車線逸脱警報	オフ / オン	オフ
③音声設定	音声録音	オフ / オン	オン
	スピーカー音量	オフ / 小さい / 標準 / 大きい	オフ
④駐車録画設定	駐車モード設定	長時間 / 標準 / 使用しない	使用しない
	駐車録画時間	3 時間	固定
	放電遮断電圧	12.2(24.3)V	固定
⑤画面設定	画面の明るさ	暗い / 標準 / 明るい	標準
	画面表示設定	1 分後画面オフ / 画面常時オン / 1 分後時計画面	オン
	映像表示設定	本体(大)リア(小) / 本体カメラの全体画面 / リア(大)本体(小) / リアカメラの全画面画面	本体(大)リア(小)
⑥後方接近警報設定	後方接近警報	オン / オフ	オン
⑦制限速度設定	制限速度	オフ / 30 キロ ~ 130 キロ	80 キロ

MEMO



株式会社ワーテックス

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13

URL <http://www.watex-net.com/>

お客様サポートセンター係

0120-25-3930

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30
(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)